

市民まつりの「きらっとサンバ」に参加しました

語って踊って雨に濡れて、楽しかったです

スタパ・チャクラボルティ(日本語教室部会)

2017年7月16日、習志野市民まつりが開かれました。私はNIAチームとして京成津田沼駅前のサンバパレードに参加しました。

パフォーマンスが始まる前、私たちはみんなで集まり、コミュニケーションをとってお互いを知ることができました。NIAから軽食として、果物やおにぎり、サンドウィッチ、から揚げ、チョコレート、クッキー、エナジードリンクなどいろいろなものを出していただきました。

道路に到着すると、一面色とりどりできれいな、いろいろなデザインの衣装を身に着けた人たち、マスコットの着ぐるみや高い竹馬に乗った人、楽器を持った人、カメラを持った人、気合の入った観客たちなどたくさんの参加者がいました。それぞれの団体には個性的なドレスコード（服装指定）もみられました。NIAも私たち参加者のためにビビットカラーのポンポンと、日本独特の赤いハッピーを用意してくれました。私たちのすぐ近くでもカリビアンダンスなどたくさんのパフォーマンスがありました。

パフォーマンス前に警備員が、事故が起かないよう交通規制をし、出場者全員を安全にパレードスタート地点へ誘導しました。そして車がなくなるまで人々は指示を待ちました。すべてのダンサーが係の人たちに従っているのを目にしました。私は「この国ではこの人たちのおかげで規則が保たれているのだな」と思いました。私は自分の学生時代を思い出し、「彼らのように素直ではなかったかな?」と思いました。

パレードは学生・生徒や他の団体の方々と一緒に行われました。参加者たちのダンスステップはとてもよく訓練されていました。盛



り上がっている観客からパチパチと拍手喝采を受けていました。

ダンスは約30～40分でした。最初は緊張していましたが、観客や一緒に踊っている仲間が私を和ませてくれ、とてもわくわくし、楽しいと思えました。踊りながら前進したり止まったりして疲れましたが、ついにゴール

地点に到着しました。もしかしたら天が私たちは疲れているだろうと思ったのか、ダンス終了後に激しい雨が降り、濡れましたが気持ちよかったです。雨は 15 分ほどで止みました。

最後にもう一度 NIA 事務局にみんなで戻って集まり、出身国や言語の異なる新しい友達と打ち解けて話をしました。そして、おいしいお菓子や素敵な思い出を持って気持ちよく家に帰りました。

日本語ボランティアの鎌田さんにはイベントに招待していただき、素晴らしいイベントに参加する機会を与えてくださったことに感謝しています。秋山さんをはじめとする NIA メンバー全員にもよい経験を分かち合う機会をくださり感謝しています。

イベントの写真を家族やインドの友達に見せると、みんなとても気に入り、褒めてくれました。

(注：チャクラボルティさんが英語で書かれた原文を NI-Youth 村上由実が訳しました)



サンバパレードに参加した NIA チームのみなさん(上と前ページの 3 点)。

竹馬？に乗った足長青年と筆者(左)。